

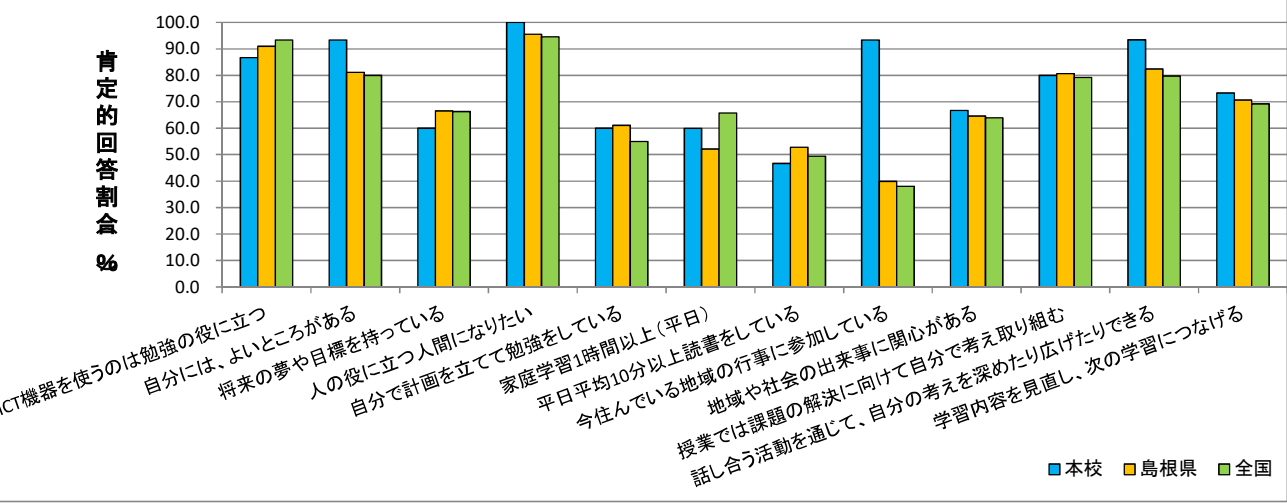
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○書くこと、読むことの領域において、全国平均を上回っている。 ○作文問題も含めて、無回答がひとつもなかった。 ○我が国の言語文化に関する事項の点数が高かった。 ●話すこと・聞くことの領域が、全国平均を下回った。 ●複数の資料を活用する問題を苦手としている。	・聞き取りの問題を取り入れ、メモをとったり、資料を活用しながら答えを導く問題に取り組む。 ・根拠を明らかにしながら意見を述べる機会を増やす。
数学	○全ての領域(数と式、図形、関数、データの活用)において、全国平均を上回っている。 ●自然数や約数などの意味理解、反比例、空間図形の内容の理解度が低い。(第1学年の学習内容) ●長文、条件が途中から変わる問題を苦手としている。	・第1学年の学習内容を復習する。 ・授業において、解答につながる根拠を明らかにしたり、根拠となる理由を問うなどする。 ・長文や条件が途中から変わる問題に取り組み、じっくりと時間をかけて理解する場面を設定する。
英語	○聞くこと、読むこと、書くことのどの領域も全国平均を上回っていた。特に英文の内容を読み取ったり、語順を意識して英文を作成したり問題の正答率が高かった。 ●会話の内容を聞き取り、概要を理解する問題ができていない。 ●英語の学習を実用的に活かしていこうとする生徒が少ない。	・教科書のリスニング教材やALTを活用し、会話の内容を聞き取る力を養う機会を増やすようにする。 ・自分の考えを話したり、書いたりする活動に興味をもち、自主的に活動できる教材を工夫する。 ・他教科とも連携し、国際社会の一員としての自覚を高めるようにする。

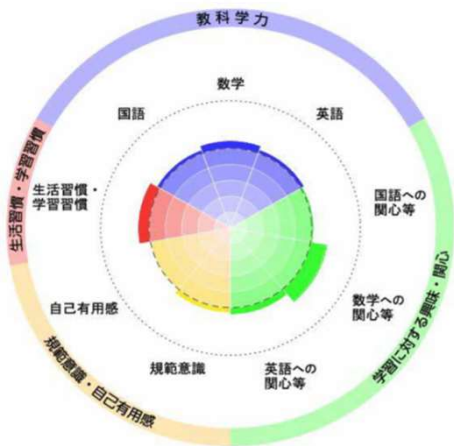
(2)生徒質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○自他を大切に、地域や学校での生活に対して幸福を感じている。 ●読書や新聞を読む生徒が少なく、外国や英語を活用することへの興味が低い。 ●家庭学習において、ICTを活用する機会が少ない。	・総合的な学習の時間を通して、地域とのつながりや自己活用場面の設定を継続していく。 ・新聞を活用したり、外国の文化に触れる機会を設定し、視野や価値観を広げる。(学校図書館を活用していく。) ・家庭学習において、タブレットを使う内容を扱う。

(3)生徒質問紙調査結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・分かりやすく、生徒の興味関心を高めることができる授業を工夫していく。
・家庭学習において、ICTを活用する場面を設定する。
・生徒に身に付けたい力(伝える力、認める力、挑戦する力)について、具体的な生徒像を教職員で共通理解する。

【受検者数】

15 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。